

SIPS電子書籍:コンテンツ堂(<http://contend.jp/>)より配信

情報連携のグローバル化

2014年度 国際連携タスクフォースレポート

SIPS

国連 CEFACT 日本委員会
サプライチェーン情報基盤研究会

¥1,000(本体価格)

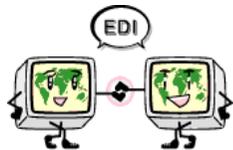
海外との取引および海外への進出は、企業の大小にかかわらず、我が国の企業にとって喫緊の課題です。海外取引または海外進出において、日本と対象国のサプライチェーン情報基盤の相互運用性を確保することにより、相互の企業にとってサプライチェーンの効率化を図り、日本を含む取引関係各国が形成する経済産業ネットワークの構築を目指すことを考えなければなりません。

サプライチェーン情報基盤研究会・国際連携タスクフォースでは、国際取引および海外現地取引における安全で効率的な電子化を推進するため、グローバルサプライチェーンのための国際物流IT戦略調査、およびアジア進出日系企業の現地取引電子化可能性調査を行い、国連CEFACT日本委員会と協力して、国際連携調査研究活動を国連CEFACTおよびアジア地域において展開しています。本レポートでは、上記目的のために行われた次の活動につき報告するものです。

- ・「グローバルサプライチェーンのための国際物流IT戦略」ラウンドテーブル
- ・国連CEFACTフォーラムでの標準化活動
- ・国連ESCAP/APTFF/UNNEXt会議等におけるアジア地域におけるサプライチェーン情報化促進活動
- ・アジア進出日系企業(今回はベトナム)のIT/EDI事情調査

SIPS電子書籍:コンテンツ堂 (<http://contend.jp/>) より配信

ビジネスインフラガイドブック 第3版



SIPS

国連CEFACT日本委員会
一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会

本書では、企業間のビジネスプロセスに焦点をあて、そこで行われるEDIを国際標準に準拠して設計する方法につき解説しています。新たな企業間情報連携の仕組みを構築しようとする方、既存の国内EDIを国際標準と整合させたい方、グローバルビジネスの企業間連携システムの構築に携わる方、そしてそれらのシステム構築をサポートするIT企業の方々に必須のマニュアルです。本ガイドブックは、2009年度から2011年度にわたり実施された、経済産業省のビジネスインフラ事業(企業や業界を越えて自由自在に情報の交換や共有が行える基盤)を継承し、2012年度から2014年度の3年間に渡り、国連CEFACT日本委員会・サプライチェーン情報基盤研究会(以下SIPSと呼ぶ)にて、国連CEFACT標準と協調しつつ、日本とアジアのビジネスインフラ構築を支援するために、対象分野と対象業務プロセスの拡充を図った成果です。

第1編 解説

第2編 業界横断EDI仕様V2.2

第3編 中小企業共通EDI仕様V2.0

第4編 自治体消耗品購買EDI仕様V2.0

第5編 メッセージ辞書

¥5,000(本体価格)